

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2001-249198(P2001-249198A)

【公開日】平成13年9月14日(2001.9.14)

【出願番号】特願2000-392541(P2000-392541)

【国際特許分類】

G 2 1 K 4/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/02 (2006.01)

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

C 0 9 K 11/61 (2006.01)

C 2 3 C 14/06 (2006.01)

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

G 2 1 K 4/00 M

G 2 1 K 4/00 N

C 0 9 K 11/02 A

C 0 9 K 11/08 B

C 0 9 K 11/61 C P F

C 2 3 C 14/06 G

G 0 1 T 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X R D - スペクトルを T E S T A に従って測定する時に $I_{100} / I_{110} = 1$ であるような強度 I_{100} を有する (100) 回折線及び強度 I_{110} を有する (110) 回折線を有する X R D - スペクトルを示すことを特徴とする、アルカリ金属ハライド保存蛍リン光体を含んでなる無結合剤保存蛍リン光体スクリーン。

【請求項 2】

$I_{100} / I_{110} = 5$ である請求項 1 に従う無結合剤保存蛍リン光体スクリーン。

【請求項 3】

- アルカリ金属ハライド保存蛍リン光体を準備し、
- 該蛍リン光体を基質上に真空蒸着させる
段階を含んでなり、該真空蒸着の段階の間、該基質を $50 \leq T \leq 300$ であるような温度 T に保ち、該真空蒸着を最高で 3 Pa の Ar - 圧を有する Ar - 雰囲気中で行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の無結合剤保存蛍リン光体スクリーンの製造法。

【請求項 4】

- アルカリ金属ハライド保存蛍リン光体のための蛍リン光体前駆体を組合わせ、
- 該蛍リン光体前駆体の組合わせを基質上に真空蒸着させる
段階を含んでなり、該真空蒸着の段階の間、該基質を $50 \leq T \leq 300$ であるような温度 T に保ち、該真空蒸着を最高で 3 Pa の Ar - 圧を有する Ar - 雰囲気中で行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の無結合剤保存蛍リン光体スクリーンの製造法。

【請求項 5】

蛍リン光体が CsX : Eu 刺激可能蛍リン光体であり、ここで X は Br 及び Cl よりなる群から選ばれるハライドを示し：

- 該 CsX を、X' が F、Cl、Br 及び I よりなる群から選ばれるメンバーである EuX'₂、EuX'₃ 及び EuOX' よりなる群から選ばれる 10⁻³ ~ 5 モル% のユウロピウム化合物と混合し、
- 該混合物を 450 より高い温度で焼成し、
- 該混合物を冷却し、
- CsX : Eu 蛍リン光体を回収する

段階を含んでなる、請求項 1 又は 2 に記載の無結合剤保存蛍リン光体スクリーンの製造法。

【請求項 6】

蛍リン光体が CsX : Eu 刺激可能蛍リン光体であり、ここで X は Br 及び Cl よりなる群から選ばれるハライドを示し、

- 該 CsX を、X' が F、Cl、Br 及び I よりなる群から選ばれるハライドである EuX'₂、EuX'₃ 及び EuOX' よりなる群から選ばれる 10⁻³ ~ 5 モル% のユウロピウム化合物と混合し、
- 該混合物を蒸着のための条件下に置き、
- 物理蒸着、熱蒸着、化学蒸着、電子ビーム蒸着、高周波蒸着及びパルスレーザー蒸着よりなる群から選ばれる方法により該混合物を基質上に蒸着させる

段階を含んでなる、請求項 1 又は 2 に記載の無結合剤保存蛍リン光体スクリーンの製造法。